

「一隅を照らす」

今まで多くの人々が平和を叫んできたはずですが、この世の中に争いのない日が訪れたのは一度だってありません。それだけを見ると、いくら平和を訴えたって意味のないことのように思えます。自分の無力さに打ちのめされた時、私は「一隅を照らす」という言葉に出会いました。「一隅を照らす」とは、自分のいる場所で小さなことでも一生懸命取り組むことで、やがて大きな力になるという意味です。原爆は人を骨も残さず焼き尽くし、街を跡形もなく破壊しました。苦しみはそれだけでなく、原爆は今尚、大切な人を失った、救えなかった悲しみと罪悪感で人々の心を、放射能で人々の体を蝕んでいます。私たちが原爆のもたらした地獄を世界に発信しても、地球上からそういうものが一掃されるのは難しいです。しかし、核兵器の恐ろしさ、それがもたらした悲劇を伝え続けることに意味があるのだと思います。伝え続けることで、原爆のことを知らない多くの人々に、原爆の悲劇は二度と繰り返してはならないのだと気づいてもらえるかもしれません。それがたとえ数人でも、その知り合い、またその知り合いと、口から口へ原爆を憂う人々によって、核兵器を無く 这样一个メッセージは脈々と繋がれるでしょう。核兵器は途方もなく大きな力を持つものです。悲劇を繰り返してはなりません。「一隅を照らす」という言葉を信じて、核兵器のない世界を目指し、そのことを伝え続けようと思います。

Light up the corner

People have been calling for peace for so long, but a day without war hasn't come yet. When I faced this reality, I felt I was powerless. It was at that time that I first learned about the words "Light up the corner."

To Light up the corner means to work hard in the place where you are, you can make a big impact in due course.

Even though we try to appeal for peace to the world, there are still weapons to hurt people on the earth. By going on appealing, we may be able to get people's attention. Even if only a few people have noticed, they might tell it to their friends and the message will spread from person to person.

Atomic bombs are cruel and sorrowful. We must not ever forget. By "lighting up the corner," we will continue our appeal for peace.